

第 59 回 大阪市廃棄物減量等推進審議会 会議要旨

1 日 時 平成 28 年 7 月 22 日（金）10 時 00 分から 11 時 50 分まで

2 場 所 大阪市環境局 第 1・2 会議室

3 出席者

（委 員）

貫上会長、花嶋副会長、足立委員、北井委員、木下委員、後藤委員、斎藤委員、杉本委員、中野委員、松本委員、鷺尾委員

（大阪市説明者）

北辻環境局長、松本環境局理事兼エネルギー政策室長、青野総務部長、大東改革担当部長、深津事業部長、川島企画課長、西尾事業管理課長、清原家庭ごみ減量課長、宮崎一般廃棄物指導課長、山下企画課長代理（司会）

（大阪市・八尾市・松原市環境施設組合）

蓑田事務局長、松田施設部長

4 議 題

- ・「大阪市一般廃棄物処理基本計画」の策定について
- ・平成 27 年度のごみ処理量等について
- ・更なるごみ減量をめざす施策について

5 議事要旨

（1） 大阪市から、大阪市一般廃棄物処理基本計画の概要について、平成 27 年度のごみ処理量およびごみ減量にかかる取組み等について、また、更なるごみ減量をめざす施策として生ごみ減量および古紙の持ち去り対策について説明があった。

（2） 意見等の概要は以下のとおり

ア 基本計画において廃棄物減量等推進員（ごみゼロリーダー）との連携・役割を記載しているとおり、計画実行のためにはごみゼロリーダーの協力が不可欠と考える。ごみゼロリーダーには基本計画の内容を理解してもらったうえで、期待する役割をきちんと伝える必要があるのではないか。

イ 平成 37 年度の処理量を 10 万トン減らし、84 万トンとする目標設定の根拠や内訳、何をどう減らしていくのかということ、ごみゼロリーダーを含めて市民にも分かりやすく伝えなければならないのではないか。

ウ 生ごみの減量施策について、事業系の取組みとして食べきりが強調されているが、抽象的な表現ではなくて、小盛りメニューや食べ切り協力店などはっきり書かないと進まないと思う。市民に難しく説明するのではなく、楽しく取組んでいただくきっかけを提供することが大切だと思う。大阪市らしい特徴を出してほしい。

エ 古紙の持ち去り対策について、条例制定にあたっては、大阪市が抱える地域的な事情を踏まえて慎重かつ幅広い目でみた検討をお願いしたい。

6 会議資料

第 58 回大阪市廃棄物減量等推進審議会 資料